

事例 ①

— Aさんの事例 —

居室番号	氏名	A	様	記入記入者
生年月日	入居日			
基本情報				
アレルギー	無			
障害者手帳	無			
尊厳死文書	無			
献体登録 (臓器移植)	無			
住居状況				
既往歴・入院歴				
生年月月	病名・病状・内服			
36歳頃	子宮筋腫術後			
1997年	逆流性食道炎			
2017年	左大腿骨頭部骨折、人工骨頭置換術後			
2017年	高血圧			
2019年	慢性副鼻腔炎			
2019年	右乳癌			
2020年	左足指骨折			
2021年7月	キライディティ症候群			
趣味やサークル活動		利用している社会資源		
入居前、地域の体操に参加。 散歩。	介護保険 (要介護3) 医療保険 ()、薬局 (在宅療養管理指導) 理美容 訪問マッサージ (月・水・金) 2020年より、コロナウ イルス感染予防のため中止。			
大切にしているもの・大切にしていること		年の経過		
身体に良いと思うことは続けた。	1年を通して息苦しさの訴えが継続して聞かれてい る。 診療所から処方のか味痺湯を内服し様子 を見ている。息苦しさに関して検査を希望され、 病院の脳神経内科を受診。パーキンソン病の診断はつ かず。 受診は今後の方針を相談され、症状を検査 するか 診療所に戻るかを選択し、本人 診 療所を希望されたため、 病院の受診は終了。7月 下旬に 診療所終了 (病院都合)。物とられ妄想 は聞かれているが、昨年より回数は少ない。8/25職 員を泥棒だと思い、「絞め殺してやる」「出ていけ」 等の暴言とシャーペンで刺す、グーで殴る、杖で叩く 等の暴力行為見られることがあった。その後は暴言暴 力行為は見られていない。9月 往診 に変更し息苦しさに関して相談している。15時のリー ゼは継続し、屯用でクエチアピン処方され、内服して いる。内服後眠気強くなり休むを息苦しさ軽減見られ ている。夕食前に内服すると夕食食べなくなり、さ くらクリニックに相談し12.5gを処方してもらう。耳 鼻科や呼吸器内科にも息苦しさに関して相談や検査行 うが、耳鼻科が呼吸器の疾患ではなくキライディティ 症候群や精神面からくるものとの話。息苦しさがあり 食事量減少し、体重も43kgまで減少。栄養士に相談し メイバランスジュースを1日2本摂取開始。拒否なく飲 めている。8月に食事量は2.3割まで減少したが、3 月には6割ほどまで摂取できている。デイルームでく ることも減り、居室で食事食べている。歩行する機会 も減り下肢筋力の低下見られ、トイレでの立ち上がり が支えがないと立てない時がある。			

居室番号	氏名	A	種	記入	記入者
生年月日				入居日	
【生活】					
自立	自立				
食料	普通食				
主食	米飯 軟飯				
副食	常菜 軟菜				
水分	トロミ無 むせ込みが見られるようになり、白湯に使用している。				
【排泄】					
排泄	一部介助 スポンの着脱介助を行う。				
尿意	有				
便意	有				
不調	無				
【沐浴】					
入浴	一部介助				
整容	自立				
洗濯	自立				
履物	無 虫歯無し。28本残歯あり。				
洗面	自立				
爪切	一部介助				
【着脱】					
着脱	一部介助				
【移動】					
移動	一部介助				
移し補助具	車椅子 歩行器 リハビリで歩行器。				
車椅子	無				
歩行器	可				
歩行補助	可				
【コミュニケーション】					
視力矯正	有 眼鏡使用。				
聴力矯正	無				
補聴器	無				
電話使用	概ね可				
理解力	有				
【N-A・B・L】			【N-M・スケジュール】		
歩行・起坐	9点		家事（身辺整理）	10点	
生活圏	9点		関心・意欲（交流）	10点	
着脱衣（入浴）	10点		会話	10点	
摂食	10点		記憶・記憶	7点	
排泄	10点		異当識	10点	
合計	48点		合計	47点	
【自立度】					
障害高齢者自立度	J1				
認知症高齢者自立度	Ⅲa				
【精神・行動障害】					
被害的	物置られ妄想の訴え多く、不満や不信感を持っている。				
感情が不安定	立腹している時もあるれば、穏やかな時もある。				
同じ話をする	愚苦しきの訴えを繰り返される。				
大声を出す	立腹していると大声を出す事ある。				

居室番号		氏名	A	様	記入	記入者
生年月日					入居日	
【病状・行動障害】						
ひどい物忘れ		自身で行ったことでも、職員に部屋をいじられたと思い込むことがある。				

生活機能チェックシート

利用者氏名	A氏	生年月日		男・女
評価日	() 09:00 ~ 09:10		要介護度	要介護度 4
評価スタッフ	職種			

	項目	レベル	課題	環境 (実施場所・補助具等)	状況・生活課題
ADL	食事	・自立 (10) ・一部介助 (5) ・全介助 (0)	有・無	食事は居室もしくはダイニングで摂取。普通型車椅子を使用。歩行は前腕支持型歩行器を使用。	息苦しさや動作の不安定性からADLに介助や見守りが必要となっている。食事は多くを居室配膳している。普段は車椅子を使用し、リハビリ時のみ歩行を行っているが、息苦しさから出来ない日が多い。歩行は小刻みは改善したがバランス能力が低下し、後方から歩行器を押す介助が必要。移乗は日中自立だが上肢依存が強い。夜間はナースコールにて対応している。日によりムラがあるが、頻尿の日がある。
	椅子とベッド 間の移乗	・自立(15) ・監視下 (10) ・座れるが移れない (5) ・全介助(5)	有・無		
	整容	・自立 (5) ・一部介助 (0) ・全介助 (0)	有・無		
	トイレ動作	・自立 (10) ・一部介助 (5) ・全介助 (0)	有・無		
	入浴	・自立 (5) ・一部介助 (0) ・全介助 (0)	有・無		
	平地歩行	・自立(15) ・歩行器等 (10) ・車椅子操作が可能 (5) ・全介助 (0)	有・無		
	階段昇降	・自立 (10) ・一部介助 (5) ・全介助 (0)	有・無		
	更衣	・自立 (10) ・一部介助 (5) ・全介助 (0)	有・無		
	排便 コントロール	・自立 (10) ・一部介助 (5) ・全介助 (0)	有・無		
	排尿 コントロール	・自立 (10) ・一部介助 (5) ・全介助 (0)	有・無		
IADL	調理	・自立 ・見守り ・一部介助 ・全介助	有・無	生活サービス利用	自身では行っていない。
	洗濯	・自立 ・見守り ・一部介助 ・全介助	有・無		
	掃除	・自立 ・見守り ・一部介助 ・全介助	有・無		
	項目	レベル	課題	状況・生活課題	
起居動作	寝返り	・自立 ・見守り ・一部介助 ・全介助	有・無	立ち上がりは上肢支持に依存しており、支持物を使用してなんとか立ち上がれるレベル。介助が必要なこともあり。	
	起き上がり	・自立 ・見守り ・一部介助 ・全介助	有・無		
	座位	・自立 ・見守り ・一部介助 ・全介助	有・無		
	立ち上がり	・自立 ・見守り ・一部介助 ・全介助	有・無		
	立位	・自立 ・見守り ・一部介助 ・全介助	有・無		

事例 ②

— Bさんの事例 —

居室番号	氏名	B	種	記入	記入者
生年月日				入居日	
基本情報					
アレルギー	無				
障害者手帳	無				
尊厳死文書	無				
献体登録 (臓器移植)	無				
在宅医療					
既往歴・入院歴					
発症年月	病名・病院・内服				
H 7 年	高脂血症				
H 7 年	脂質異常症				
H 1 2 年	ラクナ梗塞				
	子宮筋腫				
H 2 1 年	アルツハイマー型認知症				
病歴やサークル活動			利用している社会資源		
テレビ体操・洗濯たみ歌・動物のビデオ鑑賞			・補聴器 ・訪問歯科() 8月から 診療所から クリニックに変更		
大切にしているもの・大切にしていること			生活の経過		
			4月4日に右腰部に痛みがあり足を引きずる様子があったが数日で戻る。食事はムラがあり声掛けし進みは悪いときは茶碗を持ってもらい食べている。睡眠は夜間起きて寝ていないこともあるが昼に寝ることがなく過ごしている。5月に入ると両足趾間の白癬が悪化するが1か月改善に向かう。8月22日から 診療所から クリニックに変更になり低カリウムのためアスバラカリウムが朝夕2錠開始するが大きすぎて内服が難しかったためその後粉砕依頼し内服がスムーズに、寝れてないことも変わらず月2～3回ぐらい継続している。1月にコロナ感染し居室隔離になり認知症状が進み活気がなくなり排泄は失禁がありリハパン+パット使用になり、食事も自分で食べようとしないうちも活気も出てきて、日中はトイレに自分で排泄もあり夜間は起きることもなく失禁している。3月に入り他入居者の部屋に入ることも出てきている排泄は変わらないが便をいじることが出始め認知症状が悪化。乳房腫瘍は痛みもでていないので経過観察。補聴器をすぐに外してしまうことが多く他者と交流時に付けてもらっているが使用していないことが多い		

居室番号		B	様	記入/記入者
生年月日			入居日	
【食事・栄養】				
食生活	自立	おかずを一口大にカット、箸が止まったり、何を食べていいのかわからない時は声掛けする		
主食	普通食			
主菜	米飯			
副菜	常菜			
トクミ	トクミ無			
【排泄】				
排泄	一部介助	日中は自身でトイレに行くこともあるが誘導介助、夜間は失禁		
尿意	無	日中は時々あり		
便秘	有			
痔瘻	有	リハパン+パット		
【洗身】				
入浴	一部介助	一部洗体		
整容	一部介助	重ね着しているときは声掛けで薄着になってもらっている		
口拭	自立	声掛け		
髪洗	無			
歯磨	自立	声掛け		
爪切り	全介助			
【着脱】				
着脱	自立	何枚も重ね着をするので都度声掛け		
【移動】				
移動	自立			
移動介助				
履着	無			
歩行保持	可			
立位保持	可			
【コミュニケーション】				
視力検査	無			
聴覚検査	有			
補聴器	有	補聴器を外しどこに行ったか解らないことあり		
聴覚検査	可			
理解力	曖昧			
【N-A-D-L】				
歩行・起坐	9点		家事（身辺整理）	3点
生活圏	7点		関心・意欲（交流）	3点
着脱衣（入浴）	7点		会話	7点
摂食	5点		記録・記憶	3点
排泄	3点		見当識	5点
合計	31点		合計	21点
【自立度】				
障害高齢者自立度	A1			
認知症高齢者自立度	Ⅲa			
【精神・行動障害】				
介護に抵抗	排泄時声を出す			
独り言・独り笑い	居室で一人できると独り言を多くまた良く笑っている			

生活機能チェックシート

利用者氏名	B氏	生年月日		男・女
評価日	(火) 15:10 ~ 15:20		要介護度	要介護度 3
評価スタッフ		職種		

	項目	レベル	課題	環境 (実施場所・補助具等)	状況・生活課題
ADL	食事	・自立 (10) ・全介助 (0)	有・無	介護用ベッド使用、食事やおやつはダイニングで摂取。居室で過ごすことが多いがダイニングとの間を行ったり来たりしていることもある。	コロナ感染後よりADL全般に誘導や介助が必要となっている。食事や整容は準備と声掛けが必要。排せは職員がトイレへ誘導しているが失禁していることも多い。弄便あり。歩行は居室内自立、居室外は歩行可能だが立ち止まってしまうことが多いため誘導が必要。階段昇降は軽介助レベル。時折発話の内容と意図していることに相違があることがあるため見守り支援システムで行動把握を行っている。
	椅子とベッド間の移乗	・自立(15) ・座れるが移れない (5) ・全介助(5)	有・無		
	整容	・自立 (5) ・全介助(0)	有・無		
	トイレ動作	・自立 (10) ・全介助(0)	有・無		
	入浴	・自立 (5) ・全介助(0)	有・無		
	平地歩行	・自立(15) ・車椅子操作が可能 (5) ・全介助(0)	有・無		
	階段昇降	・自立 (10) ・全介助(0)	有・無		
	更衣	・自立 (10) ・全介助(0)	有・無		
	排便コントロール	・自立 (10) ・全介助(0)	有・無		
	排尿コントロール	・自立 (10) ・全介助(0)	有・無		
IADL	調理	・自立 ・一部介助 ・全介助	有・無	生活サービス利用	自身では行っていない
	洗濯	・自立 ・一部介助 ・全介助	有・無		
	掃除	・自立 ・一部介助 ・全介助	有・無		
	項目	レベル	課題	状況・生活課題	
起居動作	寝返り	・自立 ・一部介助 ・全介助	有・無	全自立	
	起き上がり	・自立 ・一部介助 ・全介助	有・無		
	座位	・自立 ・一部介助 ・全介助	有・無		
	立ち上がり	・自立 ・一部介助 ・全介助	有・無		
	立位	・自立 ・一部介助 ・全介助	有・無		